

Forest通信 令和元年 11

No.369

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター



高尾山の生きものたち

ショウビタキ (ヒタキ科)



冬になると、可愛い小鳥がやってくる。ショウビタキの雄は、胸が鮮やかなオレンジ色で、冬景色の中で明るく目立つ。雌は、体上面が灰褐色、下面は淡褐色で地味だが、目がクリッとしていて、可愛い。シベリアなど北方で繁殖し、越冬のため10月頃日本に渡来し、4月頃まで過ごす。高尾周辺でも見られる。

近くに林や藪がある水辺や畑など餌が多い開けた場所に棲みつくことが多く、「ヒッ、ヒッ」と縄張りを主張する声を出す。そこで、枝や草、杭などの上によく止まり、地面の餌を探し、飛び降りて捕らえる。餌は、主に昆虫類やクモ類などで、木の実もよく食べる。冬でも餌がある生き物豊かな日本の自然が、シベリア生まれの鳥を育てている。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)



NO.49

イヌエンジュ (マメ科)

今回はエンジュを紹介します。ただ単にエンジュと言えば、中国原産のエンジュ属の樹木を指します。エンジュ材として利用されているのは、日本に自生している、イヌエンジュ属のイヌエンジュです。

イヌエンジュは、本州の中央以北、特に北海道産のものが多く、高さ10m・太さ30cm以上になり、表皮に入った十字の裂け目が徐々にひし形状にめくれ特有の模様を作ります。

辺材は淡黄白色、心材はやや赤みを帯びた褐色です。材質は、やや重硬で強く粘りがあり、心材は腐れや割れが入りにくく、加工はややしずらいのですが、表面は磨くと光沢が出ます。

彫刻や細工物の他、古来より床柱や床框などの建築装飾材として珍重されてきました。強く粘りがあるため曲木にも適しており、手斧の柄や農具、車両部品、家具、薪炭など、生活に密着した道具類に加工された木材です。

特に床柱は「延寿」という字があてられ古くから魔除け、長寿、安産、幸せの木として大変喜ばれ、縁起が良いとされています。(皿)



イヌエンジュ材の木目

森林教室 横浜市立 美しが丘小学校

10月1日（火）、横浜市立美しが丘小学校の5年生67名が森林ふれあい館に来館し、森林教室を実施しました。

開校式後、まずは森林の働きや林業についての講義です。児童たちは事前学習をしてきた様子で、講師の職員にはたくさんの質問が浴びせられました。

講義後は、外に出て丸太切り体験です。鋸挽きの大変さを味わってもらうため、今回は少し太めの丸太を用意。「手が疲れた～」などと言いながらも全員が2～3回チャレンジ、上手に切った輪切りは皮をむき、お土産としました。

昼食後は、森林観察に出発。間伐前後の森林の違いや、9月の台風で折れたヒノキを間近に見たり、葉っぱの香りを比べたり、地中からしみ出す沢水を見て森林が水を蓄える働きを持つことなどを実感してもらいつつ森林内を観察しました。沢筋では、サワガニだけでなくクガビルを見つけたグループもあり、普段とは違う体験に、児童だけでなく先生も喜んでいました。

森林観察の中で教わった樹木の名前を何回も口ずさみ、しっかり覚えてくれた児童も多数いて、森林や植物に関心を持ってきていることがうかがわれた一日でした。（高）



森林の働きや林業について学習



切るのは大変だけど楽しい！

森林教室 横浜市立 羽沢小学校

10月2日（水）、横浜市立羽沢小学校5年生89名が森林教室にやってきました。当日は、午前中に森林学習と丸太切りを2班に分かれ交互に行い、午後は6班に分かれて全員で森林観察を行いました。午前中の丸太切りでは若干太めの丸太だったため「きついきつい」と言いながらも何回も挑戦し、少ない生徒でも2枚、中には4枚、5枚と切る生徒もおり初めての体験を楽しんでいました。午後の森林観察では、各班とも14、15名と若干多めの人数での観察となったため、案内するスタッフは苦勞していましたが、生徒達は、スタッフの話聞きながら、いろいろな植物の葉の匂いをかいだり、沢ガニを探したり、草笛を吹いたりしながら森林観察を楽しんでいました。

閉校式では、「丸太切りは大変だったけど良い香りがした。楽しかった」「いろいろな植物の葉っぱの匂いや、植物の名前を覚えることができてうれしかった」「山びこ体験で大きな声を出して気持ちよかった」等の感想が述べられ、短い時間ではありましたが、楽しい1日となったようです。

先生からは、来年度の予約をしたいとの話があり、早速森林教室の依頼申請書が届きました。来年はどんな生徒達が来るかな？楽しみにしています。（谷）



結構疲れる～



解説を聞きながら森林観察

森林教室 八王子市立 上柚木小学校

10月7日（月）、八王子市立上柚木小学校5年生81名が森林教室にやってきました。当日は秋の気配を感じられる爽やかな空気の中での実施となりました。

今回は、森林観察のみのプログラムですが、森林ふれあい館前に到着した児童たちは、バスを降りた瞬間から見慣れない森林の様子に興味津々。出発前から期待に胸を膨らませてそわそわ。

開校式を終えて早速森林の中へ入っていくと、空気はひんやりとして肌寒いくらいです。6班に分かれての観察ですが、1班あたり12～13名となるので、先頭から最後尾までは15m前後の長さで狭い歩道を歩きます。

樹木の育ち方がわかるポイントや水を蓄える働きを目にすることができる湧水ポイントなどでは、職員からの説明を熱心に聞き、手触りの良い植物の葉やにおいなどを体験しつつ観察は進みます。途中「高所恐怖症になりそう～」「蜘蛛の巣にひっかかった～」などと叫びながら進んでいきました。そしてヤッホーポイントでは元気よく「ヤッホー」と叫ぶと、きれいに「ヤッホー」とコダマが返ってきて児童だけでなく先生も大喜び。全員無事に約2時間弱の観察を終え、「ありがとうございました」との元気な挨拶をしてバスに乗り込み、無事に帰路へと着きました。（磯）



説明を熱心に聞いています



山頂に向かって「ヤッホー」

森林教室 武蔵村山市立 第三小学校

10月23日（水）、武蔵村山市立第三小学校3年生66名を対象とした森林教室を実施しました。本来であれば、森林ふれあい館を拠点に、森林学習、森林観察等を実施する予定でしたが、台風19号により、森林ふれあい館等が被害を受けたため予定を変更し、センターにおいて、丸太切り、木工品作成を実施しました。

当日は、久しぶりの晴天で、森林観察には絶好の天気となりましたが、残念ながらふれあい館周辺での観察ができなくなったため、午前中は、高尾山へ登山してもらい、午後から丸太切りと木工品作成を行いました。3年生にとっては、若干丸太が太めだったため、みんな苦労していましたが、それでも全員が2枚の輪切りをゲットし大喜びでした。木工品作成では、どんぐりなどの木の实や小枝を上手に使い、3年生が作ったとはとは思えないような素敵な作品が出来上がり、みんな大事そうに持ち帰りました。

急な予定変更で学校には迷惑をかけてしまいましたが、先生から、「有意義な体験ができて良かったです。台風被害対応で大変なところありがとうございました。」との感謝の言葉をいただき、ひと安心した1日となりました。（谷）



どのどんぐりを使おうかな～



太めの丸太だけど頑張って切りました

森林教室 横浜市立 茅ヶ崎台小学校

10月29日（火）、横浜市立茅ヶ崎台小学校の4年生103名が森林教室に訪れました。本来なら森林ふれあい館で実施するところですが、台風被害で利用できなくなったため、急遽高尾森林ふれあい推進センター庁舎で行うこととなりました。

今回は、「森林学習」のグループ及び「丸太切り」と「ぶんぶんごま」づくりのグループに分かれて入れ替え制で交互に実施。

森林学習では、職員から森林の働きや林業についての説明があり、児童たちは事前学習してきたため、「天然林と原生林の違いは？」との職員からの問いかけにもすらすら答えが出るほどでした。

丸太切りは、雨降りのため軒下での実施となりましたが、全員が2～3回チャレンジ、上手に切った輪切りは皮をむき、持ち帰りとなりました。

残念ながら森林散策はできませんでしたが、児童からは、「今日教わったことを参考に高尾山に登りたい。」などのうれしい感想がありました。（高）



森林の働きなどについて学習



上手に切れるようになりました！

森林ふれあい館が台風被害

台風19号の影響により、森林教室や公募イベントの拠点として利用している「森林ふれあい館」が土砂流入により使用できなくなりました。

森林教室を予定していた学校やイベント参加者の方々には、計画変更やイベントを中止することになり、大変ご迷惑をおかけしております。

応急処置も職員だけでは対処できず、当センターに登録されているフォレストサポートスタッフ（FSS）の皆さんのご協力をいただき、屋内に溜まった土砂の除去等を行っているところです。

改修、復旧等の時期は未定ですが、できるだけ早く対応し、安全にご利用いただけるようにしたいと考えています。

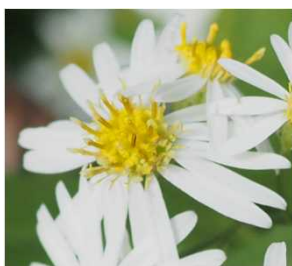


FSSの皆様、お手伝いありがとうございます

編集後記

台風の影響により、各地で被害が起きています。

高尾山でも歩道が崩れた箇所や土砂がたまっている箇所等があります。通行できないコースもありますので、現地情報を確認したうえで登山に出かけるようお願いいたします。



シロヨメナ

Forest通信 NO.369

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

